

まちのニュース カメラアイ ～地域話題をお届けします～

9/12
(金)



たのしいザンビア生活報告会

公民館恵み野ホールで和寒町国際交流の会主催の「たのしいザンビア報告会」が開催されました。

本町三和出身の山本有香さんはアフリカ南部ザンビア共和国での2年間の青年海外協力隊の派遣を終え、この度帰国。報告会は、ザンビア滞在中に撮影した人や風景を紹介し、住居や食べ物、生活環境の違いなど、体験したエピソードを交えながら語る楽しい報告会となりました。

9/11
(木)



フォークソングの名曲に聴き入る

公民館で三笠山大学9月講座、辻村達夫さんのライブ&講演会「悩まなくていいことは悩まない」が開催されました。

辻村さんは各種イベントの企画や運営をおこなう会社を営みながら講演会やライブ活動をおこなっており、当日は「案山子」「苔赤紅」などの弾き語りの合間に自身の社会への思い、子どもの頃のエピソードなどを絡め、来場者の涙を誘う心温まる講演会となりました。

Bang! ～はじける!心をつなぐ最高のステージ～

中学校において第65回学校祭が開催され、意見発表会、学級ステージ発表、合唱コンクール、音楽部発表、生徒会企画の芸能発表がおこなわれました。

意見発表会では生徒7名が発表をおこない、ステージ発表では、演劇や工夫を凝らしたショーが披露され、会場は終始盛り上がりを見せていました。

お昼にはPTAが中心となってバザーが開かれ生徒や来校した方々を楽しませていました。



9/21
(日)

9/24
(水)



交通安全を誓う交通安全パークゴルフ大会

秋の全国交通安全運動にあわせ、交通安全への意識向上を目的に開催され、当日は総勢45名の参加がありホールインワン賞が2つも出るほど白熱。参加者たちは交通安全への誓いを胸に、和気あいあいとパークゴルフで汗を流しました。優勝者は男性の部・今野廣さん、女性の部・山本敏子さんでした。

9/22
(月)



交通安全街頭啓発運動!

秋の全道交通安全運動が9月21日から30日まで展開され、22日(月)に交流施設ひだまり前で交通安全少年隊が交通安全街頭啓発に参加しました。

少年隊の子どもたちは、交通安全協会の会員などと一緒に、ドライバーに思いを込めたメッセージカードと収穫したばかりの野菜袋を手渡し、「安全運転をお願いします」と呼びかけました。

9/27
(土)



マスクプレイ・オペレッタの世界

劇団バクによるマスクプレイ・オペレッタ「やさしい赤鬼と青鬼」が図書館で上演されました。

マスクプレイ・オペレッタとは、等身大の着ぐるみ人形による、歌と踊りの人形劇です。

公演には、お年寄りから小さな子どもまで約100名が来館され、迫力いっぱいの躍動感ある舞台を楽しみました。赤鬼と青鬼の友情の物語に、小さな子どもたちも感動し、劇団バクの熱演に大きな拍手が贈られました。

9/25
(木)



「怒る」と「叱る」の違いを考える

公民館恵み野ホールで第4回教育力向上講演会「分かっていますか？『怒る』と『叱る』の違い」が開催されました。

講師に東洋大学准教授鈴木崇之氏を迎え、アニメ「クレヨンしんちゃん」などの映像を例に出しながら親の子どもへの叱り方を分析し、「自分の感情を表現する怒り方ではなく、大人が何を伝えたいかを子どもにわかりやすく伝えることが大切」と話し来場者は熱心に耳を傾けていました。

9/28
(日)



いのちの水 ～竹鶴政孝の生涯～

現在放映中のNHKテレビ小説「マッサン」のモデルとなったニッカウヰスキーの創業者 竹鶴政孝さんの生涯を描いた映画『いのちの水 余市「竹鶴政孝物語」』が、図書館で上映されました。

竹鶴のウヰスキー作りに懸ける情熱や彼を支えたリタ夫人の物語は、参加者に大きな感動を与えたようです。ロビーで開催中の「竹鶴関連の貴重資料展」で、さらに興味深くなったと好評でした。

10/6
(月)



まちをもっときれいに！ 小中連携スクールボランティア

和寒小学校と和寒中学校共同による児童・生徒のボランティア清掃活動がおこなわれました。

小、中学生がグループに分かれ、町内の道路や駅舎、スキー場などでごみを拾い、協力しながら清掃活動に励んでいました。

10/5
(日)～



協力しながら共同生活

「わっとさむスクール第2期」が10月5日から8日の2泊3日の日程でおこなわれました。

参加した児童は軽スポーツや天体観測などさまざまなプログラムをおこない、起床、就寝、食事の時間といった日常のリズムを見直し、協力しながら共同生活を過ごしました。最終日の閉所式では児童たちから指導者へのお礼の言葉があり、参加した児童たちの成長した姿が見られました。